

その他の卸売業における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9～10	国道を業務のため走行中、緩やかな左カーブで路面がアイスバンのためハンドルを取られ、スリップして左側歩道に乗り上げ、走行車線に戻ろうとしたがスリップし、対向車線へと飛び出してしまい、対向車に正面衝突したものである。	72～29	10～29
1	9～10	走行中、雪道の轍でハンドル操作を誤った相手車両が、当社車両に衝突した。	50～29	10～29
1	15～16	走行中、信号が赤になり停止した時に後から走行して来たダンプカーが止まらずに追突し、頭部打撲・頸椎捻挫・左下腿打撲を負った。	31～49	30～49
1	14～15	営業車で移動中、坂道を上って左カーブのある場所で、速度が出過ぎてしまったため、中央線から対向車線へ出てしまい、対向車のトラックに荷台に衝突してしまった。	24～99	50～99
1	18～19	配達の帰途、バイクで左カーブを走行中、ハンドル操作を誤り、道路縁石とバイクの間に左足が挟まれた。	20～29	10～29
1	10～11	業務のために路上を車で移動していたところ、赤信号停車中に後から別の車に追突され負傷した。	32	—
1	10～11	配達業務中、信号交差点において、青信号となり動き出した時に、後から猛スピードで来た車に追突された。	24～99	50～99

2	11~12	県道で、1.5t車ヘトラックで（荷物なし）走行中に対向車のトレーラーが、脇見をして、左の縁石にタイヤをぶつけてバーストして操縦不能になり、対向車線（自車の車線）に進入し正面衝突した。	69	~ 29
2	19~20	走行車線を約90km/hで走行中、前方に40~50km/hで無灯火のトラックが有るのに気づき、急ブレーキを掛けたが右にハンドルを切った。ハンドルが操作性を失い、右ガードレールに接触しそうになったので、左にハンドルを切った。左ガードレールに衝突しながら、停止した。	56	~ 29
2	14~15	車で向かう途中（運転者）、信号が赤のため停車中に、後方の車に追突された。	38	~ 49
3	10~11	配送用自動車運転中、入口交差点の赤信号から青に変わった直後、後方乗用車が衝突し頸椎を捻挫した。	44	~ 999
3	6~7	材料を運搬中、10m下の河川にガードレールを突き破って落下した。	52	1~ 9
3	18~19	配達が終わりに、軽貨物車で会社に戻る途中、高速道路の降り口で10tトラックに衝突した。	44	~ 49
3	10~11	高速道路走行中、前の車の予備タイヤが落下して、そのタイヤを避けることが出来ず衝突した。その後運転操作不能となり、ガードレールに衝突した。	24	1~ 9
3	15~16	道路の真ん中を走行中、右側追越車線を走っていた10tトラックが車線変更のために左車線に入ってきて右後方に接触し、自車は回転して停車した。	41	~ 99
4	15~ 16	仕事で移動中、電話をする為に国道本線の横にあるバス停にハザードを付けて停車していたところ、相手の車が斜め後方から車線をはみ出してぶつかって来た。自分の車は2m前方に衝撃でずれて、後方から座席にかけて大破し、その際に首や腰、肩に痛みが出た。	59	~ 99

4	1~2	市場にじゃがいもを納品する為、じゃがいもをコンテナに詰めて10tトラックを運転していた、休憩を取る為にサービスエリアに向かって車を進めた。サービスエリアに入る道路が左カーブ（ほぼ直角に等しい）の下り坂になっていた為、そこへさしかかった時、縁石に乗り上げ、車がバランスをくずし、右側に横転した。	66	1~9
5	7~8	住宅街の信号の無い交差点を直進中（トラックで配送している途中）、左から来た車両と衝突し、右上腕他を負傷した。	49	100~299
5	19~20	社命により会社の車両を運転し得意先へ集金に向かう途中、交差点を青信号で直進中、対向右折車が右折してきて避けられず衝突し、胸部他を打撲した。	69	1~9
5	11~12	橋の上の道路で渋滞に遭って運転している社用車が停止中に、後方から来た自動車に追突された。	52	30~49
5	10~11	トンネル前で右側車線の交通規制があり渋滞が発生した。渋滞に気づき、前の車と十分な車間距離（60m以上）をあけて減速（時速30km）し、それと同時にハザードを着けて後方車に知らせた。しかし、後方車は気付かず、時速70km前後で衝突した。	26	10~29
6	11~12	高速道路上り線出口から500m先において、配送中に、前を走行していた車が追越車線上で急に減速停止し、隣に避けるため左車線側にハンドルを切ったところ、直前に事故があったために、その際の破片が散らばっており、破片を避けるうちに車体が少しずつ小刻みに振られた。その後、荷台後部から大きく2、3回振られ、車体をコントロールできず、中央分離壁にぶつかり、反動で路肩側壁面にぶつかって停止した。路肩側壁面にぶつかった際に、胸骨を骨折してしまった。	65	10~29
6	12~13	走行中、左側飲食店駐車場より相手車が直進して来たらしく、減速もなく車道に進入してきた為、自車の左側面スライドドアに激突され、右に横転した。相手車もはずみで右に横転する事故となった。目撃者によると、駐車場内を急加速し、その勢いそのまま進入して行ったとのことである。ペダルの踏み違いによるらしい。	35	10~29
		得意先に納品後、私道より県道へ行くため、右折しようとして一旦停止をして、左右確認後、双方車が通過しゆっくり発進して右折したところ、県道より走行してきたト		10

6	8~9	レーラー車に左側面を当てられた。その際に身体を車内ぶつけられ、右肩・右腰を強打して打撲し、左手首を捻挫した。	48	~ 29
7	15~16	社用車（ワンボックスカー）で客先へ商品を配達するため、高速道路を走行中、雨のためスリップし、中央分離帯に接触の単独事故により首などを負傷し、救急搬送された。	34	1~ 9
7	11~12	現場納品終了後、営業所に帰っている途中、交差点で信号待ちをしていたところ、自分が運転している営業車のトラックの後ろに乗用車が追突した。その衝撃で首がむち打ちになり、腰も痛めてしまった。	23	1~ 9
7	16~17	業務で郵便局に行った帰りに、交差点を青信号で横断中に、右折車と接触した。相手側の前方不注意によるもの。被害者本人は、「事故時の記憶がはっきりしない」とのこと。後で分かったことは、加害者は「ぶつかって初めて、人がいたことに気付いた」と言っている。また、加害車は、事故後、右ドアミラーとフロントガラスを損傷していた。	44	30 ~ 49
7	10~11	配送業務中、ウィンカーを点けて左折待機していたところを追突された。	49	30 ~ 49
7	5~6	1.5t自社トラックを運転中、バイクを降ろすために停車していた運搬貨物車に衝突し、負傷した。	70	1~ 9
7	9~ 10	お客様宅で作業を終え、事務所に戻るため走行。事務所敷地内に投入するためウィンカーをあげ右折した時、後方車両が反対車線にはみ出し、追い抜きをかけ当り方車両の運転席右ドア付近に追突した。	44	1~ 9
7	14~ 15	野菜類を得意先へ納品するため、トラック（冷蔵庫）を運転走行していたところ、対向車と正面衝突をした。衝突の衝撃により、運転席に挟まれ右大腿骨及び左ふくらはぎを骨折し、右頬および右手には割れたフロントガラスが刺さった。	43	50 ~ 99
7	10~ 11	車を運転していた際、赤信号停車中に後方からよそ見運転のトラックに追突された。	46	1~ 9
				10

9	2~3	信号のない交差点で、走行している車と衝突し、負傷した。朝刊の配達中である。	40	~ 29
9	23~ 24	出張帰宅中、バイクで走った時、普通通れる道が工事中の為、暗い中標識がわかり難く、縁石に有る工事現場に置物にぶつかってバイクから飛ばされて地面に転落し、重傷を負った。	41	~ 29
9	10~ 11	路肩に停車中のトレーラー右後部（重機運搬用低床、空荷状態）に乗車中のタクシーが追突した、乗車位置は後部座席左側で、追突の衝撃で前に飛ばされ、フロントガラスに衝突した。	51	~ 999
10	17~ 18	配達先から勤務先に戻る時の交通事故。信号機の有る十字路交差点を、被災労働者の車両が青信号で直進したところ、対向から右折をしてきた相手車両と衝突した。	26	1~ 9
10	13~ 14	店の駐車場内通路を歩いて横断中、前方から来た右折車と接触し、右手首骨折、頭部、頸椎、腰椎、右足打撲を負った。	48	100 ~ 299
10	12~ 13	現場から社用車で会社へ戻る途中の現場において、対向車待ちのため停車していた所、突然後方から追突され負傷した。相手車両をそのまま逃走し、現在不詳である。	30	10 ~ 29
11	12~ 13	電動丸鋸で木材を切っていたところ釘が節に当たって、鋸が手前側に跳ねてしまった時に手袋を巻き込んでしまい、スイッチを切るのが間に合わず、左手親指を切ってしまった。	35	50 ~ 99
11	14~ 15	商品配送のため社用車を運転中、考え事をし前方不注意になりハンドル操作を誤り、時速40~50kmでコンクリート柱へ衝突した。左足、右肩を打ち、骨折、靭帯損傷となった。	59	10 ~ 29
12	18~19	片側2車線の道と交わるT字路で、右折時に右から左へ進んできた車が停車せずにきた為、衝突した。	42	10 ~ 29
		路上で、パッカー車のサイドバンパーの上に乗リトラックを徐行させながら、古紙		

12	9~10	回収作業中、当日は昨夜からの雨で路面が最悪の状態ですりやすく、ツルツルした路面での作業であった。事故当時は、離れた場所で作業をしており、目撃していませんでしたので推測しかできないが、被災者が何らかのアクシデントで車から手が離れたか、又は、足を滑らせたか、転落し、パッカー車の後輪に巻き込まれて骨盤を骨折するなどの死亡事故が発生したと思われる。	62	1~9
12	18~19	顧客への商品配達中、県道を会社の車で走行していたところ、脇道から別の車が飛び出してきて衝突した。そのときの衝撃で、右の腰から背中にかけて打撲した。	23	10~29
12	7~8	配達の帰り、走行中に橋が凍結していたためスリップし、道路左側の水路に転落して負傷した。	70	10~29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html